

## 観客の声

**江野 寛さん (43 歳) 西原 2 丁目**  
感動しました。郷中教育はすごく大事なことで感じました。小中学校で上映したらまちがいなく素晴らしい教育教材になるはずだと思います。

**37 歳女性**  
自然と涙があふれました。この映画の中には、親や子に伝えなければならない大事なメッセージがこめられています。

**福島 篤則さん (58 歳) 上谷町**  
素晴らしい映画でした。特に主役の 3 人がみんなを引っ張っていくところが胸をうちました。  
郷中教育は非常に大切なことを教えてくれますし、こうした教育を行えば、現代のいじめ問題は、すぐなくなると思います。昔は、縦のつながりがあって上級生が下級生を助けていましたが、今はそれが少なくなっているように感じます。  
今の日本の教育に欠けているものが、この映画の中にあると思いました。

**17 歳男性**  
目標をかけた努力を重ね挑戦し、ひとつの目標を成し遂げる姿が素晴らしいと感じました。

**58 歳男性**  
子どもを育てあげた頃を思い出し、いくどとなく涙があふれました。笑いあり涙ありで、子どもたちの生き生きした姿に感動しました。何回でも見たいそんな映画です。

## 舞台あいさつ



◆**雑賀 俊郎 監督**  
映画「チェスト!」は、鹿屋に出会わなければ完成しなかった映画だと強く思っています。鹿屋に来て菅原小学校を見た瞬間、ここだと一目ぼれし、ここで撮りたいと強く思いました。

今日、6 か月ぶりに鹿屋を訪れ、すごく懐かしい思いでした。ここに帰れたことが嬉しくてしょうがなかったです。  
鹿屋の人は、みんなとても暖かくて、この映画が完成できたのも、皆さんの力だと思います。本当にありがとうございました。  
ぜひ、自分の生まれた鹿屋を、皆さん誇りに思ってください。そして、この「チェスト!」を愛していただければ嬉しく思います。



◆**坂上 也寸志 プロデューサー**  
皆さんの映画「チェスト!」が、ようやく鹿屋に戻ってきました。これから、この作品の良さを全国や世界に伝えるため、一丸となって頑張ります。

鹿屋の皆さん、この映画が鹿屋で撮影され、上映されたことを皆さんの記憶の中に永遠に残していただきたいと思います。



さいが 雑賀俊郎監督や出演者が舞台あいさつ



大勢の鹿屋市民の皆さんが、この映画の公開を待ち望んでいました。



子どもたちの舞台あいさつに、笑いの渦が巻き起こっていました。



# 泣いた! 笑った! 感動した! 映画「チェスト!」を上映中



## 上映スケジュール

### 映画「チェスト!」のストーリー

生粋の薩摩っ子・吉川隼人は、ヤンチャで正義感が強いクラスの人気者。「負けるな! 嘘をつくな! 弱いものをいじめるな!」という鹿屋島伝統の郷中教育を受け継いだ彼には、たったひとつだけついた「ウソ」があった。それはカナヅチだということ。  
毎年夏に開催される「錦江湾横断遠泳大会」を、仮病を使って参加を逃げ切っていた隼人。しかし、小学校生活最後となる今年は、父の愛情たっぷりの教育的指導と、学校のマドンナなち先生の誘いにあらがえず強制参加…。  
謎多き転校生と過敏性腸症候群に悩むクラスメイトを仲間に迎え、やむをえず練習をはじめた隼人。そんな中、思いもよらない事件が発生する。彼らは無事に「錦江湾横断遠泳大会」に参加できるのだろうか……

- **上映期間** 3 月 21 日 (金) まで
- **上映時間** ① 10 時～ ② 12 時 20 分～ ③ 14 時 40 分～  
④ 17 時～ ⑤ 19 時 20 分～
- **鑑 賞 料** 一般 = 1,800 円  
高校・大学生 = 1,500 円  
小・中学生・3 歳以上・シニア (60 歳以上) = 1,000 円

※ 3 月 22 日以降の上映スケジュールについては、お問い合わせください。

【問い合わせ】市民交流センター(株)まちづくり鹿屋 ☎ 0994-35-1001



3 月 1 日から、リナシティかのやで、菅原小学校をはじめ市内 10 数か所、映画全体の 7 割近くを鹿屋市内で撮影した映画「チェスト!」が上映されています。  
俳優の松下奈緒さん、高嶋政宏さん、榎本孝明さんなどが出演するこの映画は、薩摩の郷中教育をモチーフに、小学生が錦江湾横断遠泳大会への挑戦を通して、誰もが子どもの頃に体験したジレンマを乗り越え、大きく成長していく姿を描いた、「涙、笑い、そして感動」の物語です。

上映初日の 3 月 1 日は、リナシティかのやホールで上映され、3 回の上映で約 700 人が映画を鑑賞しました。  
3 回目の上映前には、雑賀俊郎監督や坂上也寸志プロデューサーをはじめ、子ども役で出演した高橋賢人さん、中嶋和也さん、御厨響一さんが舞台あいさつを行い、5 人には、鹿屋市からばらの花束や記念品が贈られました。  
上映中は、ハンカチで目頭を押さえる鑑賞者も見られ、本編終了後スクリーンにエンドロールが流れても、誰も席を立つことなく、終了とともに観客から大きな拍手がわき起こっていました。  
上映後のホワイエでは、観客が「すごく感動した!」「とてもおもしろかった!」「ぜひ、子どもに見せたい!」などと、口々に感想を語り合っていました。  
市民の皆さん、ぜひ、映画のロケ地となった鹿屋市から、映画「チェスト!」を全国へ盛り上げていきましょう。